目次

はじめに

このたびは弊社の FMV- LIFEBOOK 指紋センサー搭載モデル（以降、パソコン本体）をご購入いただき、まことにありがとうございます。
本書は、パソコン本体に搭載されている指紋センサーの基本的な取り扱い、ソフトウェアのインストールと削除、およびアプリケーションの設定と使いかたについて説明しています。
ご使用になる前に本書およびパソコン本体のマニュアルをよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2005 年 10 月

本書の表記

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：　「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：　「スタート」ボタン→「(すべての）プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>指紋センサーを搭載した
FMV-LIFEBOOK</td><td colspan="3">本パソコン
パソコン本体</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Professional</td><td>Windows XP Professional</td><td rowspan="3">Windows XP</td><td rowspan="3">Windows</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Home Edition</td><td>Windows XP Home Edition</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005</td><td>Windows XP Tablet PC Edition 2005</td></tr>
</table>

使用上のご注意

■指紋センサー使用時のご注意

・センサー部に強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
・SMARTACCESS/Basic は、他の認証アプリケーションやリモート機能を有するアプリケーションと同時に使用できない場合があります。

■指紋登録時／照合時のご注意

・指の状態が次のような場合には、指紋の登録が困難になったり、照合率が低下することがあります。
 - 汗や脂が多い
 - 手が荒れたり、極端に乾燥している
 - 指に傷がある、または磨耗して指紋が薄い
 - 急に太ったり、やせたりして指紋が変化した
 手を洗う、手を拭く、登録する指を変えるなどお客様の指の状態に合わせて対処することで、登録時や照合時の状況が改善されることがあります。
・指紋の登録や照合を行う場合、センサー上で指を正しくスライドさせてください(→ P.8)。スライドのさせ方が正しくないと、指紋の中心がセンサー中央からずれて、指紋を読み取ることが困難になったり、照合率が低下することがあります。

■センサーに関するご注意

・指紋の読み取りを行う前に金属に手を触れるなどして、静電気を取り除いてください。静電気が故障の原因となる場合があります。冬季など乾燥する時期は特にご注意ください。
・センサー部分をひっかいたり、先のとがったもので押したりしないでください。傷がつく原因となります。
・使用中はセンサー表面が温かくなることがありますが、故障ではありません。

■センサー表面の清掃について

・次のような場合は指紋の読み取りが困難になったり、照合率が低下することがあります。センサー表面はときどき清掃してください。
 - センサー表面がほこりや皮脂などで汚れている
 - センサー表面に汗などの水分が付着している
 - センサー表面が結露している
・次のような現象が起きる場合は、センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
 - 指を置いていないのに「初期化中に画像を検出しました」というエラーが表示される
 - 指を離しているのに「指を離してください」の表示が出たままになる
 - 認証画面から「指紋パスワード認証」ウィンドウに切り替えられない
 - 指紋の登録失敗や照合失敗が頻発する
・清掃の際には、乾いたやわらかい布でセンサー表面の汚れを軽く拭き取ってください。

重要

- センサー表面に水などの液体をたらさないでください。また、ベンジンなどの揮発性有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

■その他のご注意

・指紋認識技術は完全な本人認識・照合を保証するものではありません。当社では指紋センサーを使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
・指紋センサーは、パソコン用機器として設計されております。人命に関わる用途、または高度な信頼性、安全性を要する用途での使用は考慮されておりません。このような用途で使用される設備、機器、システム等への組み込みは避けてください。
・指紋センサーは、日本国内仕様であり、添付のアプリケーション、ドライバなどは各 OS の日本語版のみ対応しております。

1 特長

■コンパクト

弱電界式半導体指紋センサーを採用し、小型の設計になっています。

■照合精度

富士通独自の「適応型特徴相関法注 1」により、高い識別率を可能にしました。富士通独自のアルゴリズムにより、照合も高速で行うことができます。また、登録した指紋の画像は一切残らないため、プライバシー保護の面からも安心してお使いになれます。

■すぐに使える簡単アプリケーション

パソコン本体に添付されている CD- ROM には、パスワードを入力する代わりにユーザー自身の指紋で Windows へのログインを行うアプリケーションが収められています。このアプリケーションを使うと、指紋またはパスワードによる Windows へのログオンを簡単に管理でき、導入したその日から指紋認証による高度なセキュリティ注 2 が実現します。

注 1：指紋の模様に含まれる「端点」や「分岐点」などの特徴点の相対的なつながりを利用して識別精度を飛躍的に高くする方法です。通常、特徴点だけでも十分な認識精度が得られるのに加え、特徴点相互間の相関を計算することで識別能力が高くなると同時に、指紋の歪みや汗に影響を受けずに認識できる利点があります。

注 2：セキュリティの強度は、お使いの OS に依存します。

2 SMARTACCESS/Basic について

本パソコンには、指紋認証によりWindowsへのログオンやスクリーンロック、レジュームロックを行う機能を持ったセキュリティアプリケーション「SMARTACCESS/Basic」が添付されています。
パソコン本体に添付の「ドライバーズディスク」に格納されている『SMARTACCESS/Basic クイックインストールガイド』をご覧になり、指紋センサードライバのインストール、およびSMARTACCESS/Basicのインストールを行ってください。
『SMARTACCESS/Basic クイックインストールガイド』は、「ドライバーズディスク」の下記に格納されています。

¥Other¥SMARTACCESS¥SABasic¥Manual

なお、SMARTACCESS/Basic の詳細な説明については、同じフォルダに格納されている『SMARTACCESS/Basic 入門ガイド』および『SMARTACCESS/Basic リファレンスマニュアル』をご覧ください。

重要

- セキュリティチップを使用する場合、SMARTACCESS/Basicをインストールする前にBIOSの設定とユーティリティのインストールが必要です。また、指紋センサーを使用する場合、SMARTACCESS/Basic を使用する前に指紋センサーのドライバをインストールする必要があります。
- セキュリティチップの設定（BIOSの設定とユーティリティのインストール）、また は指紋センサーの設定（ドライバのインストール）のどちらかのみを行ってSMARTACCESS/Basicをインストールした場合、後からもう片方の機能を使用するには、一度SMARTACCESS/Basicをアンインストールし、セキュリティチップと指紋センサーの両方の設定を行った後で再度SMARTACCESS/Basic をインストールするする必要があります。

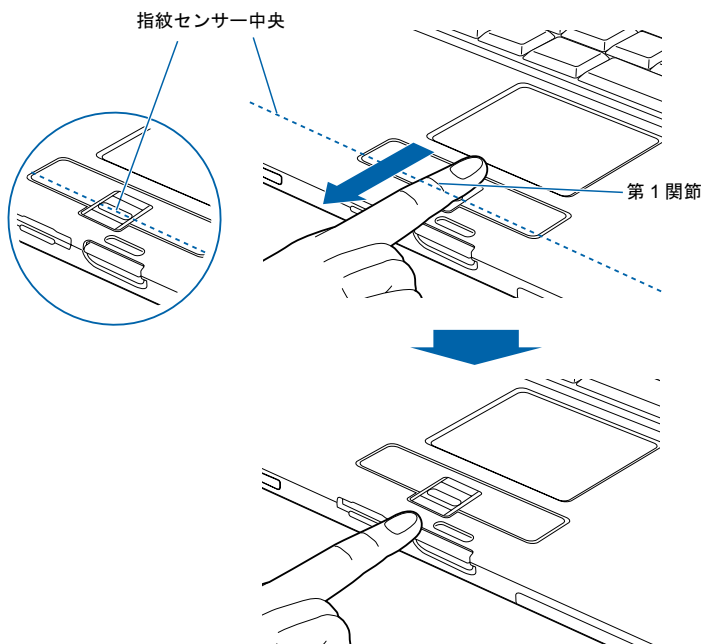
3 指紋センサーの使い方

指紋を読み取る

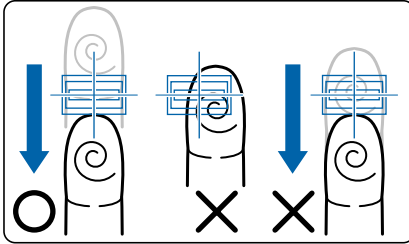
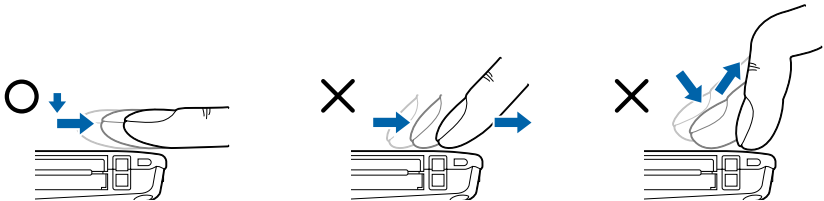
指紋の登録や認証を行う場合は、次のように指をスライドさせてください。認証の失敗を減らすことができます。

1 操作する指の第 1 関節が、指紋センサーの中央部に当たるように準備します。

第一関節より先の部分が読み取り範囲となります。

2 第一関節を指紋センサーに押し当てると同時に指を動かし、センサー部が完全に見えるまで水平にスライドします。

（イラストは機種や状況により異なります）

重要

- うまく認識されないときは
  次の点に気を付けて操作してください。
  ・指の第一関節より先の部分が、指紋センサー上を通過するようにする
  ・指紋の渦の中心が、指紋センサーの中心を通過するようにする
  ・1 秒程度で通過するくらいの速さで、スーッと動かす

  なお、親指など、指紋の渦の中心を合わせにくい指は、うまく認識できないことがあります。その際は、中心を通過させやすい指を登録してください。
- 指紋の読み取りがうまくいかない場合
  指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。
- 指を突き立てたり、引っかけるようにスライドさせないでください
  指紋センサーに指のはら（指紋の中心部）が接触していなかったり、指を引っかけるようにスライドさせると指紋の読み取りがうまくいかない場合があります。
  必ず、指のはら（指紋の中心部）が指紋センサーに接触するようにスライドさせてください。

（イラストは機種や状況により異なります）

指紋センサーをお使いになる方へ

▶ 指紋の読み取りがうまくいかない場合
指のスライドが速すぎたり遅すぎたりした場合、正常に認識できないことがあります。画面のメッセージに従って、スライドの速さを調節してください。

ここで表示している指紋イメージはあくまでサンプル（例）です。
実際に指紋センサーで表示される指紋イメージとは異なります。

指紋センサーのスクロール機能を使用する

指紋センサードライバをインストールすると、指紋センサーのスクロール機能で、画面のスクロールをすることができるようになります。ウィンドウ内のスクロールする領域をクリックしてから、指紋センサー上で指先を前後方向にスライドすると、指の動きに合わせてウィンドウ内の表示が上下にスクロールします。

POINT

- 対象とするウィンドウによっては、スクロール機能が使用できない場合があります。
- スクロールの速度については、「コントロールパネル」の「指紋センサー」から調整することができます。「指紋センサー」が表示されていない場合は、ウィンドウ左側の「コントロールパネルのその他のオプション」をクリックしてください。

4 困ったときは

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。また、合わせてパソコン本体のマニュアル、および SMARTACCESS/Basic のマニュアルもご覧ください。
それでも問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、パソコン本体に添付の取扱説明書をご覧になり、「故障・修理に関するお問い合わせ先」にご相談ください。

症状	対応	参照先
指紋登録時にエラー表示される。	指の置き方が正しいか確認してください。指が正しく置かれていない、または、指を置く方向が毎回ずれていると登録できないことがあります。	P.10
	指が乾燥していませんか。 手を洗う、指に息を吹きかけるなど指がしっとりする程度湿り気を与えることで改善されることがあります。	P.4
	指が濡れていませんか。 乾いたハンカチなどで指の湿り気を拭き取ることで改善されることがあります。	P.4
	センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると読み取れない場合があります。	P.4
	異なる指で再度登録してください。	–
指紋照合時にエラー表示される。	指の置き方が正しいか確認してください。指が正しく置かれていないと照合できないことがあります。	P.8
	指が乾燥していませんか。 手を洗ったり、指に息を吹きかけるなど指がしっとりする程度湿り気を与えることで改善されることがあります。	P.4
	指が濡れていませんか。 乾いたハンカチなどで指の湿り気を拭き取ることで改善されることがあります。	P.4
	センサー表面を確認してください。汚れていたり、汗などの水分が付着していると指紋が読み取れない場合があります。	P.4
	登録したもう片方の指で照合してください。	–